

日本一の米どころ、酒どころ新潟で語り合おうわが街の地域包括医療・ケア
の飛来する地で実践する地域医療 愛着ある地域医療を見つめて
た。

全国国診協・国民健康保険中央会主催の第36回地域医療現地研究会
が令和4年5月13日（金）・14日（土）の2日間にわたり新潟市と阿賀野市で
3年ぶりに開催され、全国各地の国保診療施設・国保連合会関係者など、ハイブリッド形式により168名（会場132名、オンライン36名）が参加した。

新潟市「朱鷺メッセ新潟
コンベンションセンター」
開講式の主催者挨拶
で、小野全国

開講式



全国国診協 小野会長
(秋田県:市立大森病院院長)

とき・令和4年5月13日（金）～14日（土）
ところ・朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター
あがの市民病院・水原保健センター

テーマ

日本一の米どころ、酒どころ新潟で語り合おうわが街の地域包括医療・ケア
の飛来する地で実践する地域医療 愛着ある地域医療を見つめて

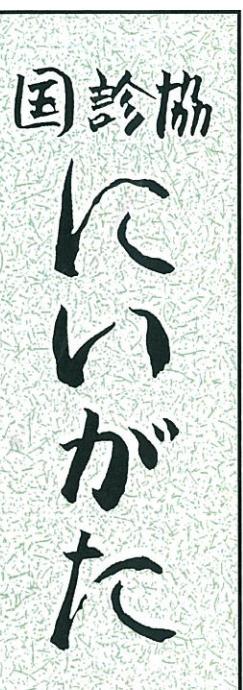
全国国診協・国民健康保険中央会主催の第36回地域医療現地研究会
が令和4年5月13日（金）・14日（土）の2日間にわたり新潟市と阿賀野市で
3年ぶりに開催され、全国各地の国保診療施設・国保連合会関係者など、ハイブリッド形式により168名（会場132名、オンライン36名）が参加した。

真髓を学ぶことが目的であり、国診協の主要事業の一つである」と本研究会の意義を述べた。新潟県国民健康保険団体連合会の小林則幸理事長は「地域包括医療・ケアの先駆者として長年蓄積してきた知識と経験を活かし、時代のニーズに応えて行くこと

が、国診協としてより一層求められる」と挨拶。

続いて、阿賀野市田中善市長から阿賀野市では、「阿賀野市では、健康寿命日本一を目指しながら地域包括医療・ケアの

第36回（令和4年）地域医療現地研究会 新潟県開催



編集・発行
新潟県国保診療施設協議会
新潟市中央区新光町7番地1
新潟県国民健康保険団体連合会
電話 025-285-3039
発行代表者
新潟県国保診療施設協議会
会長 藤森勝也



新潟県福祉保健部
松本部長



阿賀野市 田中市長



新潟県国民健康保険団体連合会
小林理事長（出雲崎町長）



第36回地域医療現地研究会
藤森実行委員長
(あがの市民病院院長)



会場の様子

充実に取り組んでいる。高齢化社会の中ですべての人がいつまでも住み慣れた地域で生き生きと暮らしていくことが阿賀市の政策目標である」と阿賀市を紹介。

次いで、新潟県花角英世知事（代理・福祉保健部松本部長）から、「当研究会が地域医療の発展に実り多いものになることを期待する」と来賓挨拶。

最後に、本研究会実行委員長のあがの市民病院の藤森勝也院長から新潟県国診協の施設数の推移、2日間のスケジュール、あがの市民病院を中心とした施設視察先を説明するオリエンテーションが行われ、開講式終了後、3班に分かれて施設視察に向かう。



会場の様子

施設視察

あがの市民病院の皆さん
おそろいのTシャツでご案内

あがの市民病院外観



水原保健センター



あがの市民病院視察

あがの市民病院では藤森病院長自ら精力的に、地域医療センター・訪問看護ステーションやリハビリ室、人工透析室や介護医療院などを参加者に説明。次の施設視察先の水原保健センターは阿賀野市役所に隣接しコロナワクチンの接種会場、健康に関する研修会や講演会などに使用され同市の保健活動の拠点として地域に根差している施設として市民から利用されていると説明があった。その他、越後隨一の豪農であり大地主であった伊藤家の屋敷（北方文化博物館）、白鳥の飛来する瓢湖を見学し、1日目を終了した。

全体討議

2日目は、「朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター・国際会議場」にて、全体討議が行われ、新潟県国診協会長である藤森勝也氏が座長を務め、阿賀野市健康推進課成人係長、佐藤美穂氏から、「めざせ!! 健康寿命日本」の取り組みについて、寄付講座、中学生生活習慣病予防事業などだれもが安心して生き生きと暮らせる阿賀野市の取り組みの発表があつた。

最後に、あがの市民病院歯科口腔外科部長、辻内実英氏から「当科における訪問歯科診療への取り組み」について、訪

新潟大学大学院医歯学総合研究科 特任准教授 藤原氏

阿賀野市健康推進課
成人係長 佐藤氏

座長 左：藤森 勝也氏（あがの市民病院長）
助言者 中央：森田 博通氏（厚生労働省保険局国保課長）
右：海保 隆氏（全国国診協副会長）

問歯科診療の課題から多職種の顔の見える関係性の構築、地域の歯科医院等との連携により地域歯科医療を支えていく発表があつた。

その後、厚生労働省保険局国保課長、森田博通氏、全国国診協副会長の海保隆氏から発表者へ助言があり、全体討議を終了した。

厚生労働省
国保課長森田氏あがの市民病院歯科口腔外科
部長辻内氏

閉講式では、次期開催地を代表して香川県国診協会長の大原昌樹氏（綾川町国保陶病院長）から、「withコロナ、afterコロナ時代における地域包括医療・ケア」をテーマに、令和5年5月12日（金）13日（土）に観音寺市などで開催し、施設視察研究先是令和4年に開院した三豊市立みどよ市民病院などであることの報告があつた。

最後に、全国国診協副会長の海保隆氏（千葉県国保直営総合病院君津中央病院長）より開催地への謝辞と全体のまとめとして閉会挨拶があり、第36回地医療現地研究会の挨拶があり、第36回地医療現地研究会の2日間にわたり全日程の幕を閉じた。

閉講式



全国国診協 海保副会長

香川県国診協 大原会長
(綾川町国保陶病院院長)



新潟県国診協 藤森勝也会長



感謝状を受け取る宮永和夫氏

新潟県国民健康保険診療施設協議会（以下、新潟県国診協）は、令和4年11月26日（土）新潟市アートホテル新潟駅前を会場に、令和4年度新潟県国診協医療セミナーを開催し、昨年同様、会場参加に加えWEBでの参加を募り、県内会員施設、医療機関等から53名の参加があった。

新潟県国診協会長のあがの市民病院藤森勝也院長が「労働人口減少により、地方の財政が圧迫されている中、その後、前副会長の宮永和夫氏（前南魚沼市病院事業管理者）の副会长8年、会長職1年を歴任した国診協活動に対する功績をたたえ、感謝状が贈呈された。当日は所要により欠席のため、後日、事務局から感謝状を手渡した。

国では持続可能な社会保障制度の構築に向けた取り組みが進められている。全国国診協では、全国国保地域医療学会、地域医療現地研究会、地域包括医療・ケア研修会を開催し、その実践に努めている」と主催者挨拶。

次に、魚沼市立小出病院小出病院総合コーディネーターの井口峰子氏は「魚沼地域医療介護ネットワーク（おぬま・米ねつ）による情報共有」について、安全で質の高い医療や介護サービスを提供するために処方・検体検査・注射等の医療データ及び介護情報を利用施設間において共有するネットワークシステムを発表した。

南魚沼市民病院地域包括ケア病棟看護師の林香織氏は「アクティビティケアの取り組みと効果」について、生きることへの意欲や楽しみ、喜びを持つことのできる活動を発表した。

新潟県国診協 布施克也副会長

ウイズコロナ時代のわが街・施設・病院の「地域包括医療・ケア」の取り組み

菊地志保子氏から「あがの市民病院のCOV I D-19対応」について、発熱外来の運用、院内感染対策、新型コロナワクチン接種、アウトブレイク対応の発表があった。

次に、各事例発表後には参加者がから多くの質疑があり、病院と地域の連携が良く理解できたと好評であった。

閉会式では、新潟県国診協副会長の国保魚沼市立小出病院布施院長が「国診協こそが地域医療のリーダーになっていかなければいけない」と締めくくり、盛会裏にセミナーが終了した。



あがの市民病院 菊地氏



あがの市民病院 遠藤氏



南魚沼市民病院 林氏

事例発表

令和4年度 新潟県国保診療施設協議会 医療セミナーを開催

あがの市民病院感染管理看護師長の菊地志保子氏から「あがの市民病院のCOV I D-19対応」について、発熱外来の運用、院内感染対策、新型コロナワクチン接種、アウトブレイク対応の発表があった。

連携センター・マネージャーの遠藤明日香氏から「わが街の介護・病院連携の会」について、スムーズな受診と入退院時の情報共有や顔の見える関係づくり等のあがの市民病院と介護施設、行政との連携について発表があった。

各事例発表後には参加者がから多くの質疑があり、病院と地域の連携が良く理解できたと好評であった。

閉会式では、新潟県国診協副会長の国保魚沼市立小出病院布施院長が「国診協こそが地域医療のリーダーになつていかなければいけない」と締めくくり、盛会裏にセミナーが終了した。

新潟県国民健康保険診療施設協議会

運営委員(任期:令和4年9月1日~令和6年8月31日)

氏名	所属	役職
藤森勝也	あがの市民病院 院長	会長
布施克也	国保魚沼市立小出病院 院長	副会長
外山千也	南魚沼市病院事業管理者	副会長
登坂尚志	柏崎市国保高柳診療所 所長	副会長
畠山牧男	上越市国保清里診療所 所長	副会長
本間由美子	新潟県国民健康保険団体連合会	常任運営委員

新潟県国民健康保険
運療施設協議會
運営委員会

令和5年度 行事・会議予定

新潟県国保診療施設協議会

○新潟県国保診療施設協議会総会

令和5年7月7日(金)

新潟市 自治会館

○令和5年度新潟県国保診療施設協議会医療セミナー

令和5年11月25日(土)

時間・会場未定

全国国保診療施設協議会

○第37回地域医療現地研究会

令和5年5月12日(金)~13日(土)

香川県

【メインテーマ】「withコロナ、afterコロナ時代における地域包括医療・ケア」

【会場】ハイスタッフホール(観音寺市)、琴参閣(琴平町)

【研修施設】三豊総合病院、三豊市立みとよ市民病院

○全国国保診療施設協議会定時社員総会

令和5年6月16日(金)

オンライン開催

○国保直診口腔保健研修会

令和5年10月5日(木)

福井県福井市

○第63回全国国保地域医療学会

令和5年10月6日(金)~7日(土)

福井県福井市

【メインテーマ】「コロナ超え、今こそ羽ばたく地域包括ケア 幸福の地に翔る不死鳥の如く」

【会場】アオッサ(福井市)、ハピリンホール(福井市)

【地域交流会会場】ザ・グランユアーズフクイ(福井市)

○地域包括医療・ケア研修会

令和6年1月12日(金)~13日(土)

東京都(予定)